

杵築市立山香病院において非がん疾患（がん疾患以外の病気）により
死亡退院された 75 歳以上の患者様のご家族様へ
～入院中のカルテ情報の使用のお願い～

【研究課題名】

一般病院における非がん疾患後期高齢者の緩和ケアの実態調査

【研究組織】

○研究代表者・責任者

大分大学医学部看護学科 教授 三重野英子

○研究分担者

大分大学医学部看護学科 准教授 小野光美

大分大学医学部看護学科 助教 阿部世史美

大分大学医学部客員研究員 吉岩あおい

杵築市立山香病院 院長 小野隆司

杵築市立山香病院 看護師長 常見藍

杵築市立山香病院 副看護師長 八坂佳苗

介護老人保健施設グリーンケアやまが 看護師長 大石由香

杵築市立山香病院 看護部長 池田文恵

○研究事務局

大分大学医学部看護学科 教授 三重野英子

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

令和元年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日の間、杵築市立山香病院において、非がん疾患（がん疾患以外の病気）により死亡退院された 75 歳以上の方

【研究の目的・方法について】

現在、75 歳以上の方の死亡原因は、年齢とともにがん疾患以外の心臓の病気、脳卒中、肺炎、さらに老衰が上位に占めています。これらのがん疾患以外の病気を非がん疾患と言います。非がん疾患を抱える 75 歳以上の高齢者の場合、個人差はありますが老化の進行とあいまって、これから先の回復や看取りの時期を見通すことが難しくなります。また、老化と病気により、からだやこころの苦痛

を強く抱える方も多く、看護師として、こうした苦痛を取り除き、穏やかに自分らしく過ごせるようなケア（緩和ケア）を提供することが課題となっています。

本研究は、病院で療養する非がん疾患の75歳以上の方に対して、予後を適切にとらえながら、心身の苦痛を緩和し、尊厳を支える看護を提供することをめざしています。そこで今回、非がん疾患でお亡くなりになった75歳以上の方のカルテ調査を行い、病状や緩和ケアの実態を把握し、どのような方にいつから緩和ケアを提供すればよいのかを明らかにしたいと考えております。

カルテ調査では、電子カルテ（診療記録や看護記録等）より、診断名や入院回数、入院中の病気や治療の経過、食事や排泄などの療養生活の状況、ご本人の訴え等、研究に必要な情報をいただきます。さらに対象の中から10事例を選ばせていただき、病状経過やケア内容を振り返り、詳細な検討をいたします。

杵築市立山香病院では、すでに非がん疾患患者対象の緩和ケアチームを立ち上げ、多職種で検討を行っています。本研究は、この緩和ケアチームとともにを行います。この研究をとおして、よりよい緩和ケアを提供できるよう努力したいと存じます。

研究期間：令和6年4月23日～令和7年3月31日

【使用させていただく情報について】

本院におきまして、令和元年4月1日～令和6年3月31日の間、非がん疾患により死亡退院された75歳以上の方のカルテ情報（診療記録や看護記録等）を調べさせていただきます。

なお、本研究にカルテ情報を使用させていただくことについては、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんのカルテ情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく情報の保存等について】

本研究で扱ったカルテ情報は、論文発表後 10 年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究では、杵築市立山香病院の病院内で、研究対象である患者さんのカルテ情報の提供を受けた後、大分大学医学部看護学科研究室において情報の整理・分析を行います。これらの情報を大分大学医学部以外の他の機関へ提供することはありません。

患者さん個人が特定できないよう、氏名の代わりに記号などへ置き換えますが、この記号から患者さんの氏名が分かる対応表は、杵築市立山香病院の研究責任者が保管・管理します。また、カルテ調査によって収集した情報（個人が特定されないよう加工済みの情報）の整理・分析を行う際、研究者以外の者がアクセスできない状態で行います。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大分大学医学部看護学科 教授 三重野英子

杵築市立山香病院 院長 小野隆司

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者様の費用負担はありません。また、本研究において、利益が生まれる可能性はありません。

【研究資金】

本研究は、公的な資金である大分大学医学部看護学科実践看護学講座老年看護学領域の基盤研究費及び科学研究費（「一般病院における非がん後期高齢者の緩和ケアプログラムの開発」基盤研究（C）、課題番号 21K10966）を用いて行います。

【利益相反(りえきそうはん)について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間接的な関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へカルテ情報を提供するかしないかは、患者様のご意思を代諾される方ご自身の自由です。従いまして、本研究にカルテ情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者様・代諾者の方の不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることとはいたしません。

患者さんのカルテ情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5093

担当者：大分大学医学部看護学科 教授 三重野英子（みえのえいこ）

住 所：〒879-1311 大分県杵築市山香町大字野原 1612-1

電 話：0977-75-1234（代表）

担当者：杵築市立山香病院 看護師長 常見藍（つねみあい）